

庁 議 録

招集年月日	平成 26 年 1 月 6 日 (月)							
開会時刻	午前 10 時 00 分	閉会時刻	午前 10 時 40 分					
開催場所	庁議室							
出席の状況 (○出席者、代は代理出席)								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	直轄理事	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	理事兼政策監	○	9	健康福祉部長	○
10	産業部長	○	11	建設部長	○	12	上下水道部長	○
13	教育部長	○	14	こども部長	○	15	伊達総合支所長	○
16	梁川総合支所長	○	17	保原総合支所長	○	18	霊山総合支所長	○
19	月舘総合支所長	○	20	議会事務局長	○	21	会計管理者	○
代理出席者								
職務のため出席した者		健康福祉部次長、産業部次長、建設部次長、総合政策課長、健幸都市推進室長、総務課長、人事課長、秘書広報課長、財政課長						
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項		<p>1. 市長あいさつ</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 特別職主要業務予定について (1 月上旬)</p> <p>(2) その他</p>						

## 市長発言要旨

新年あけましておめでとうございます。穏やかな正月を迎えることができましたが、今年がこのような一年になってくれることを望むところです。

さて、平成 26 年という年を改めて私なりに考えてみましたので、少し時間を頂いて話をしたいと思います。

まず、平成 26 年は合併して 9 年目、合併特例期間の終了の 1 年前ということで我々にとっては重要な意味がある。つまり、自立をするということに一層自覚を持って仕事に励まなければならない。自立とは、財政の健全化であり、今まで取り組んできた行政評価や D T I により行政の効率化に努めていかなければならない。その中には、財産台帳の作成、施設管理のあり方、スポーツ振興公社等の民間活用などがある。

しかし、なんと言っても、昨年 12 月議会で交流館条例が成立したことで、交流館が市民協働の大きなステップとなっていくものと考えている。交流館をプラットフォームとして、地域力、地域自治能力、そして市民協働の実をあげていくことが重要となる。市民協働は今年の課題である。

次に、平成 26 年は、3.11 災害から 4 年目、まる 3 年が経過して、ひとつの区切りでもある。放射能対策について一定の方向付けができたと思っているが、決して終わったわけではない。新たな観点で見直す必要がある。

我々は市民に安心してもらうために放射能対策を進めてきたが、市民の一部には未だに「安心」できていないということがある。安心をしてもらうための取り組みとして、C エリアを中心とする地域については、フォローアップ除染を推進する必要があると考えている。

もうひとつは、自然豊かな中で生活しているという（都会に対する）優位性が損なわれている現状があり、この自然環境の回復のための除染、放射能対策に取り組まなければならない。具体的には、里山、林縁部 20 メートル以遠等の除染対策である。

また、ガラスバッチによる累積被曝線量管理、個人別指導管理の徹底が大事であり、これを引き続き進めていく。風評被害対策としては放射能量の全品測定の徹底と個別トレサビリティ体制が重要となる。

次に、相馬福島道路が早期完成を目指して工事が進んでいる。高速道路ネットワークが形成され、ICが4ヶ所設置される。それぞれの開発計画が必要であり、伊達市としても新たな町づくりに取り組まなければならない。

復興道路としての観点から言えば、伊達市は新たな使命を持つべきではないか。具体的には、浜通り地区の復興支援の基地としての役割、避難者の受け入れについても検討するべきである。

次に、健幸都市の建設については、合併の本来の目的でもある少子高齢社会への対応、持続可能な社会の形成、安心して暮らせる町づくりを目指して、モデル地区の成果を全市へ展開していかなければならない。

また、いなべ元気クラブ方式を導入し、市民主体の身近な運動を集会所単位に進めていきたい。まちなかお茶の間の整備、婚活、子育て支援、雇用の確保等も推進しなければならない。

次に、伊達氏や上杉氏、養蚕等の歴史観光整備を進め、歴史文化の発信をしていかなければならないと考えている。桃の里・弥平杯マラソン、梁川オラトリオ、霊山太鼓祭り等のイベントについても全国に発信していきたい。担当部はよく検討してもらいたい。

最後に、職員にあっては、行政のあるべき姿、やるべきことを、地道に、実直に、コツコツと、世におもねることなく、市民のために、伊達市のために、平成26年の業務に取り組んでももらいたい。

